

## 「最澄の茶」 歴史的ストーリーが魅力

最澄が805年に唐から茶の種を持ち帰り、日本で初めて茶を植えたとされるのが日吉茶園（大津市）。今回は、その茶園の木をわけてもらい、7年という歳月をかけて土山町で栽培し、昨年初めて「最澄の茶」の収穫を行った立岡さんにお話を伺いました。この最澄の茶は、「日吉茶園」と名づけられ、販売されています。



滋賀県指導農業士 **立岡 啓さん**

### ■日吉茶園の「最澄のお茶」を土山で栽培しようと思ったのは？

日本茶発祥の地が滋賀であることを、県内の方もあまり知りません。日本茶発祥の地であることを全国に発信し、滋賀が茶の産地であることをアピールしたいという思いから、栽培を発案しました。

### ■収穫までの苦労は？

茶葉のデータがなく、適した栽培方法もわからない中で試行錯誤を繰り返し、約7年かけて収穫できました。ただ、収穫量も限られ、実際に飲めるのかも心配でしたが、萎凋という製造工程を行うことで葉の内部の酵素が働き独特の香りが出たお茶「日吉茶園」が完成しました。

### ■今後、日本最古の茶をどう生かしていきますか？

日本茶発祥の地という歴史的なストーリーを生かして、近江の茶の産地である朝宮、土山、政所がオール近江で全国に商品発信していくような取り組みに生かしてもらいたいです。



▲昨年に初出荷された日吉茶園



▲土山町大野地先にある最澄の茶を復活させた茶園

# 元気なまちがど

## 22の窯元がおもてなし

～信楽窯元散策路「ぶらり窯元めぐり」～

今年で13回目を迎える「ぶらり窯元めぐり」が、4月6日から8日にかけて信楽窯元散策路で開催されました。

22の窯元では、フラワーアレンジメント作品の展示や、信楽焼の器での朝宮茶の振る舞いなど、窯元の個性あふれる企画がそれぞれに用意され、訪れた人を楽しませました。



作陶体験では、訪れた人が作り手との会話を楽しみながら、ミニたぬき作りを体験していました。

◀ミニたぬき作りを体験する来訪者

## こいのぼり作りに挑戦

～キッズランド「こどもの日制作」～

2歳6カ月以上の未就園児とその保護者を対象とするキッズランドが4月10日、水口子育て支援センターで行われました。

この日は「こどもの日制作」として、子どもたちが保護者と一緒に、ビニールに目やうろこの形をしたシールを貼り、オリジナルのこいのぼりを作りました。



子どもたちは、こいのぼりが完成すると、「できた!」とうれしそうに先生やお友達に見せて、はしゃいでいました。

▲こいのぼりの完成を喜ぶ参加者

### 情報交流広場

## となりまち



### 伊賀市 余野公園 つつじ祭

伊賀市にある余野公園には、関西随一を誇る約15,000本のつつじが自生しており、地元の人たちに愛されています。毎年5月の第2日曜日には「余野公園つつじ祭」が開催され、約2万㎡の芝生広場で地元自治会や各種団体による出店、ステージイベントなどの催しが行われます。初夏のさわやかな季節、ご家族や友人と楽しいひとときを過ごしてみませんか。



▲満開のつつじの様子

- とき● 5月13日(日) 10時～14時
- ところ● 余野公園(伊賀市柘植町1065の4)
- アクセス● 名阪国道「上柘植IC」から車で約15分
- 問い合わせ● 伊賀市商工会 ☎0595-45-2210 ☎0595-45-5307  
伊賀支所振興課 ☎0595-45-9119 ☎0595-45-9120

### 亀山市

## 亀山市歴史博物館 第30回企画展 「学生がひもといた亀山」 ～亀山高校郷土史クラブ～

三重県立亀山高等学校には、かつて「郷土研究会(郷土史クラブ)」があり、市域の多数の遺跡調査にも携わっていました。クラブの活動を紹介しながら、地域の学生が明らかにしてきた亀山の歴史に焦点をあてます。



▲木下古墳発掘調査風景

- とき● 6月10日(日)まで 9時～17時(休館日:毎週火曜日)
- ところ● 亀山市歴史博物館企画展示室(亀山市若山町7の30)
- アクセス● JR亀山駅から徒歩20分 名阪国道「亀山IC」から車で約10分 無料 ※常設展示の観覧には観覧料が別途必要です。
- 企画展観覧料●
- 問い合わせ● 亀山市歴史博物館 ☎0595-83-3000

## 曳山地渡りを体験

～よみがえれ水口岡山城 2018 with SAKURA～

水口岡山城の会が主催する「よみがえれ水口岡山城2018」が4月7日と8日の2日間、古城山山頂をはじめとする3つの会場で開催されました。

5回目となる今年は、毎年恒例の巨大バルーンによる水口岡山城の再現のほかに、プラスチックレールによる城下町の展示や、4月20日に行われた水口曳山祭に向けた試し引き(曳山地渡り)の体験などが催されました。

曳山地渡りをした参加者は、お囃子に合わせ、一生懸命曳山を引いていました。

▶曳山を引く参加者



## 市民の健康増進へ連携・協力

～甲賀市まちづくりパートナー基本協定～

甲賀市まちづくりパートナー基本協定が4月4日、一般社団法人甲賀市スポーツ協会と株式会社滋賀ユニテッドとの間で締結されました。

本協定では、スポーツ等を通じた青少年の健全育成や市民の健康増進につながる取り組みを、相互に連携・協力し進めていきます。

協定式で両者は、「子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しめるような環境づくりを連携して進め、スポーツの裾野を広げていき甲賀市を盛り上げたい」と意気込みを語りました。



▲協定に調印した滋賀ユニテッドの鈴木社長(左)と市スポーツ協会の森田副会長(右)